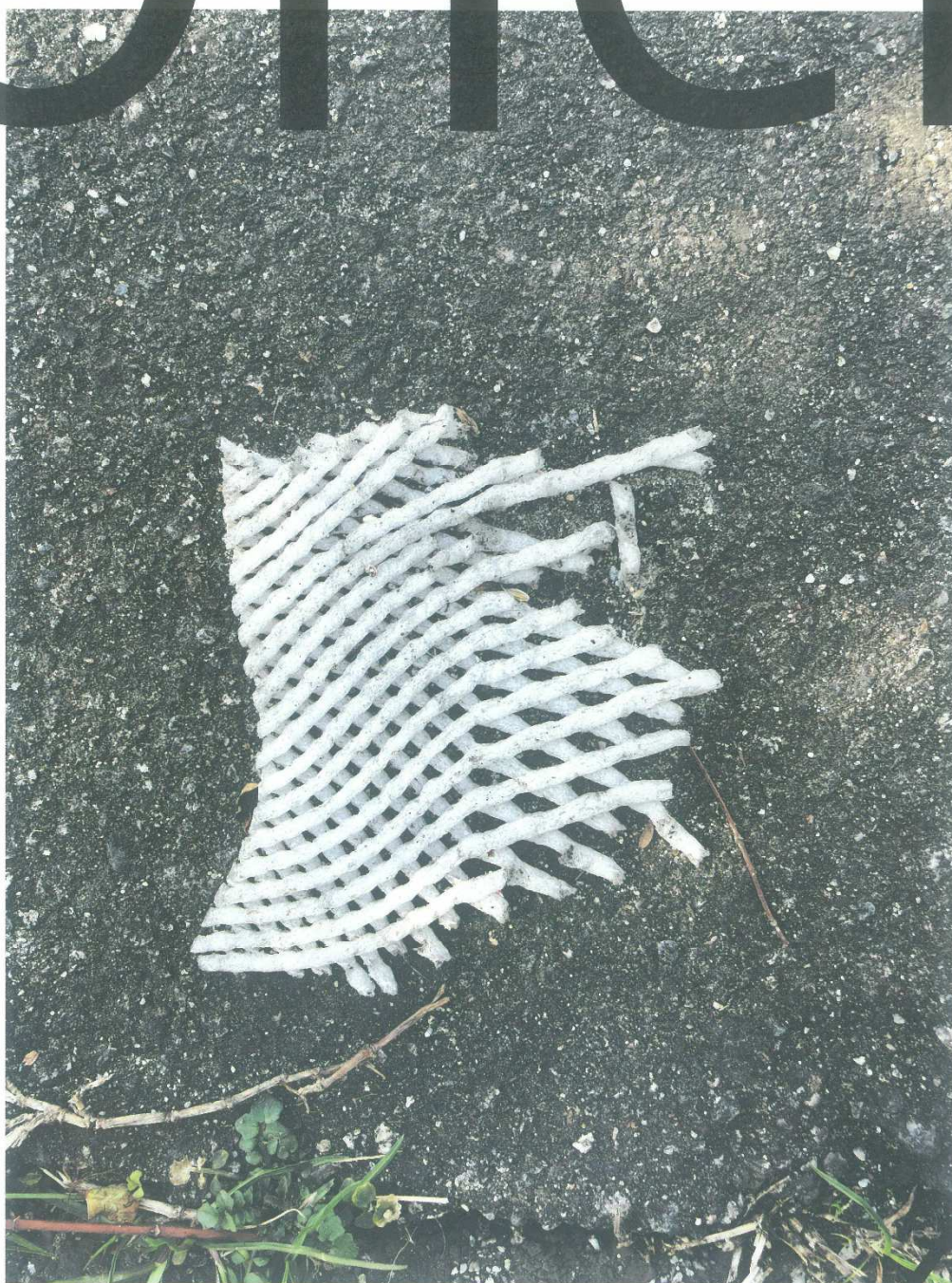


富山のデザイン情報誌

offer



vol. 48

08.

**環境機器のEMダイヤ
基板剥離機の新型発売**

●EMダイヤ

使用済みの電子基板から実装部品を剥ぎ取る基板剥離機「エココレクター」の新型が開発・発売されました。基板両面に搭載されたチップ部品を一気に剥離でき、タブレットやノートパソコンなど小さな基板にも対応。IoTで操作したり稼働状況などを診断できる機能も加えました。「都市鉱山」とも言われる使用済み電子基板のリサイクル需要に応えます。



10.

県産スギ間伐材でウクレレ製作

●辻四郎ギター工房

乱伐で調達が難しくなってきたマホガニーなどギター用高級木材の代替材に、県産スギの間伐材を使うプロジェクトが辻四郎ギター工房をはじめ県木材研究所、県総合デザインセンターなどでスタートしました。発案は高岡市のデザイナー相川繁隆氏。ヘッド部分に高岡漆器の螺鈿細工を施したウクレレを製作。次いでギターの製作に着手する予定。同事業は、県新世紀産業機構の補助事業に採択されました。

11.

**まちなか回遊モビリティ
愛称は「ヒミカ」**

●氷見市

水色と白色のかわいらしい電動三輪車が氷見市のまちなかをゆったりと走ります。愛称は、「氷見」と「カー」で「ヒミカ」。4人乗りで、車体には、氷見の海と立山の氷、特産のブリが描かれています。市民や氷見市を訪れた方が、ゆっくりと中心市街地を巡るためのモビリティです。氷見駅前と、ひみ番屋街で貸し出ししています。



12.

**市民と施設をつなぐ
新たな地域公共交通「べいぐるん」**

●射水市

射水市新湊地区のベイエリアでは、新たな地域公共交通「べいぐるん」の実証運転が行われています。「べいぐるん」は4人乗り（運転者を除く）の電気三輪自動車で、海王丸パーク等を訪れる観光客をまちなかへ誘導し、回遊性を高めることで地域活性化を図るとともに、地域内における近距離の移動手段として、自家用車に頼らない低炭素社会の実現、高齢者の外出機会の促進による健康増進や地域交通環境の充実を目指しています。



13.

**富山の伝統工芸職人と連携
新たな建材開発を目指す
「越-etsu-プロジェクト」**

●大建工業

大建工業（株）が富山県を中心に伝統産業を営む複数の職人とコラボレーションし、これまでにない新感覚のデザイン建材を商品化する共同企画「越-etsu-プロジェクト」が始動しました。富山県内からは鋳造、彫金、漆芸、組子などの職人が参画。ホテルや高齢者施設といった非住宅市場向けに、ドアなどの建材の開発に取り組みます。